

2022年 12月 10日

2022年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人防災・災害ボランティアかわせみ

代表者・役職名 氏名 谷岡 康・代表理事

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

水防災講演会【命を守る避難行動の心得】(立川市、昭島市、八王子市)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

- 安全・安心まちづくり:地域の危機意識啓発、地区防災計画の促進、防災教育等
- 災害復旧支援活動:被災地に赴き技術系ボランティア団体として被災宅の復旧支援を行う

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

平成27年水防法改正により、想定される最大降雨による内水浸水想定を示す事となるが、多摩川、浅川沿川での内水氾濫想定は為されていない部分がある。また水害時の避難行動は、内水、洪水、想定浸水深、継続時間、河岸浸食、倒壊家屋範囲等により異なる。また避難時には洪水に先んじて生じる内水氾濫の状況を見て、適切な避難行動を促す必要がある。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- 八王子市、昭島市、立川市につき、それぞれの地域の水害危険箇所を調査、解析、水防災講演会を行った。
- 1.内水危険区域解析、QGIS(地理情報システム)へのデータ(レイヤー)作成
 - 2.洪水ハザードマップデータ(東京都)の変換(QGIS:仕様;拡大・スクロール可能)
 - 3.水防災講演会「水害の種類と命を守る避難行動」「ハザードマップで観えないリスク」「地区防災計画」
 - 4.アンケート調査・集計

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「結果」八王子市、昭島市、立川市において水防災講演会を3回行い、計50名以上の参加を得た。
「成果」一般に知られていない内水氾濫、各地域のハザードマップの状況を理解してもらえた。
「社会的な変化」「効果」:殆ど進められていない「地区防災計画制度」の説明を加え、自主防災会、自治会との繋がりを得、たすけあいの地区防災計画策定促進、支援の可能性を広げた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

参加者が、コロナ渦第8波の影響等もあり、極めて少なかったが、その分参加者には個別に丁寧に対応が出来た。今後の受講者からの自治会・自主防災会他関連地域団体に広がり、集客方法の工夫をし、さらに参加者の口コミにより、より多くの市民への広がりが期待される。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください

※ちらし、活動の様子、アンケート集計結果等につき、当法人ブログに掲載 <https://bit.ly/3HbN5as>



